



セミナー、表彰・発表、語る会 の3本立て！

どなたもご参加
いただけます
お気軽にご参加ください

2024年7月30日（火） 清澄庭園 大正記念館（東京都江東区清澄 3-3-9）

一造会会員がもっとカッコよくなるセミナー

第3回 すてきな造園空間 施工管理技術 作品コンクール

表彰式・受賞作品技術発表会

交流会 造園家の仲間と語る会

■タイムスケジュール

15:30 受付開始

16:00 ~

一造会会員がもっとカッコよくなるセミナー

※参加無料

講師：梶井直和氏（一造会フェロー）

テーマ：「公民連携とフェーズフリー」



梶井直和氏

梶井直和氏プロフィール

1951年生まれ。千葉大学園芸学部を卒業。三井物産林業(株)（現・物林(株)）で環境・景観事業を開拓するとともに、ODAによる中国・黄河中流域砂漠緑化プロジェクトを主導し、成功を収める。東日本大震災後は、東北にて震災復興に尽力し、一造会の東北・北海道支部設立の礎を築く。その後、物林(株)常務取締役、(株)ティンバースケープ代表取締役社長などを歴任。一造会広報部会長、幹事長、副会長を経て、現・フェロー。

17:20 ~

第3回 すてきな造園空間 施工管理技術 作品コンクール

表彰式・受賞作品技術発表会 ※参加無料

受賞作品・受賞者発表・表彰

選考委員講評

受賞者プレゼンテーション



選考委員会の様子

選考委員

委員長

近江 慶光氏（千葉大学大学院園芸学研究院助教）

副委員長

藤本 加奈子氏（一造会副会長）

委員

芦田 浩史氏（独立行政法人都市再生機構）

梶井 直和氏（一造会フェロー）

金澤 弓子氏（東京農業大学地域環境科学部准教授）

松本 朗氏（一造会常任相談役）

18:20 ~

交流会 造園家の仲間と語る会

※会費：4,000円ビュッフェ形式＋飲み放題

20:20 閉会

■参加申込 一造会のHP、右の二次元コード及びこのファイルがPDFの場合は「Google フォーム」をクリック Google フォームにてお申し込みください。フォームがご利用できない場合は、どの催事に参加するか、氏名、連絡先（住所、携帯電話）を明記し、一造会事務局（info@icz.jp）まで、E-mail をお送りください。



全国 1 級造園施工管理技士の会（一造会） TEL:03-6455-0426 FAX:03-6455-0427 E-mail: info@icz.jp

一造会は、国家資格「1 級造園施工管理技士」資格取得者を正会員とする全国組織で、より良い環境の創出・保全を目指し、市民交流や技術の向上、知識の習得を図っています。

一造会の詳細は下記をご覧ください

【一造会賛助会員】アゴラ造園(株)、飯島興産(株)、(株)石勝エクステリア、内山緑地建設(株)、(株)苑友造園、オーセブン(株)、大貫石材工業(株)、加勢造園(株)、(株)桂造園、関西造園土木(株)、(有)岨農園、ゲンゼグリーン(株)、(株)サイニチ、(株)椎橋商店、(株)CSS 技術開発、(株)昭和造園、西武造園(株)、造園施工管理技術研究協会、(株)ダイショーフォレスト、(株)タカショー、(株)高橋植木、(有)ツリークライミングワールド、東武緑地(株)、(株)中村製作所、西尾レントオール(株)、日日石材(株)、フォレストガーデン、(株)富士植木、(株)ブリッジ、北部緑地(株)、草屋舎、(株)丸山製作所、NPO 緑の大地会、(株)柳島寿々喜園、(株)山梅、(株)ライフ計画事務所、(株)ランド【会員随時募集中】



ホームページ



FaceBook

一造会会員がもっとカッコよくなるセミナー

造園技術者は、世界の造園史においても王族、貴族のお抱え庭師であったり、日本庭園史においても通常はお目通りも叶わない将軍、大名、豪商などの縁を愛でる高位な方と直接会話をする場面があったと言われていました。そこでは庭をどのように作っていくか、どう育てていくか、草木の四季の移ろいを語るばかりではなく、世相、歴史などさまざまな話題に興じたとのこと。

ビジネスとしての昨今の造園としては、図面通りに効率よく仕上げることが評価される場面も多いと思いますが、規格があるとはいえ個性のある樹木や景石などをどのように組み合わせるかが本来の技量ではないでしょうか？そして、発注者をはじめとする取引先などから、造園の話だけでなく多様な話題を持ち、礼儀もわきまえていると認識されるような技術者となることを目指す・・・これが先輩からの貴重な経験をご披露いただくというこのタイトルの趣旨なのです。

一造会会員はもちろん、1級造園施工管理技士の資格をお持ちの方やこれから1級造園施工管理技士の取得を目指される方も奮ってご参加ください。

第3回すてきな造園空間 施工管理技術 作品コンクール 表彰式・受賞作品技術発表会

すてきな造園空間 施工管理技術 作品コンクールの開催目的は、以下の3点です。

1. 一造会会員がその施工管理技術を発揮し、創意工夫して仕事に携わりエンドユーザーにとって魅力的で価値が向上した造園空間を発見し、その功績や努力を称え合うこと。
2. 一造会会員が当コンクールの作品成果を共有したうえで、「おさまり」や「出来栄え」をさらに意識して新たな造園の仕事に取り組むこと。
3. 一造会会員が取り組んだ造園としてのすばらしい仕事を広く社会に発信し、造園業界以外の方にも造園の仕事やその価値を理解していただくこと。

作品としては、一造会会員が創造したすてきな造園空間の写真と、その空間を作り上げるために取り組んだ技術や苦労、創意工夫等がわかる施工管理運営時の写真を作品のメインとし、解説文、アピール文を添えて応募していただくものです。当初の計画や課題はどういったことで、それに対してどのように考え、実際に技術や努力、工夫をどこにどのようにしたことによってすてきな造園空間が完成したのかがわかる作品を募集しました。

今回の第3回コンクールは20作品の応募がありました。その後、一般の方には、一造会HPや日本造園学会全国大会会場ポスターからインターネットによるいいね！投票、また誰でも参加できる一造会イベント時に投票用紙によるいいね！投票に参加していただきました。作品の入選については、造園の技術や工夫を生かして創造された造園空間として優れた景と評価できる作品に対して選考委員会で総合的に決定します。写真写りがきれいかどうかといったことではなく、造園施工管理技士としての優れた技術力や価値を高めた工夫、努力が作品の中にみられるか等を特に重視してします。

当日は、入選作品の結果発表と表彰式、選考委員からの講評、受賞者による受賞作品の技術発表会を行います。

交流会 造園家の仲間と語る会

一造会発足の目的の一つに、「現場に埋没しがちな技術者同士の交流」があり、さまざまな交流の機会を設け、現場や社内だけでなく、設計、施工、行政などの職種や業種を超えた交流に取組み、市民と造園家の交流会、若手中心のU39、金曜ほっとラインなどを実施しています。今回の交流会にもいろいろな方が参加されると思います。ぜひ、この機会にご参加ください。